

年 組 名前:

問1

「世界らん展2023」で、北杜市に農場を持つ

高橋昌美さんのランが、最高賞に選ばれました。

そのランの種類と出展したランの名称を

教えてください。

・種類

・名称

問2

最高賞に選ばれたランは、審査員から、

どのような評価を受けましたか。

.....
.....
.....

問3

なぜ、高橋さんの会社は、東京から北杜市に

生産拠点を移したのでしょうか。

.....
.....
.....

ラン展で最高賞

北杜・高橋社長 大きさなど高評価



受賞したランを手にする高橋昌美社長
＝北杜市白州町鳥原

世界最大規模のランの展示会「世界らん展2023」(同実行委主催)の作品審査で、北杜市に農場を持つ花き栽培「東京オーキッド・ナーセリ1」(東京都)の高橋昌美社長(55)＝同市＝の作品が、最

高賞に選ばれた。交配を重ねて自社開発した品種で、大きく花弁の美しさなどが高い評価を受けた。展覧会は2月14日までの7日間、東京ドームで開かれた。作品審査には全国から517

点の応募があり、高橋社長が出品したパフィオペディアム属のエメラルドフューチャー「グリーンモンスター」が、最高賞である「日本大賞」を受賞した。講評では審査員から「比類なき花の大きさと、ピンと横に張ったような開き具合」など、花の色、形を含めて総合的に高い評価を受けた。

米国から持ち込んだ株を親にして2008年に交配に着手。15年に最初の花をつけた。受賞作品は同属で通常幅12センチほどの花が18センチと、突出して大きく、出品のタイミングで「ひととき存在感を示した1株だった」という。高橋社長は受賞に対し「親株の選定、輸送から始まった思い入れのある品種。8年経過し、最もいい状態で出品できた」と話した。同社は1990年に、北杜市白州町鳥原に「山梨農場」を整備し、本社がある東京都世田谷区から、生産拠点を移した。現在4400平方メートルの施設で、1500種10万株を栽培している。日照や昼夜の寒暖差、肥料の調合がしやすい純水など環境条件が栽培に適しており、「新しい発想や事業も生みやすい」という。現在、フラスコ内の幼苗栽培に力を入れ、海外市場への販売展開を計画している。高橋社長は「受賞を足がかりに世界の市場で戦いながら交配の談義ができる仲間を世界中でつくっていきたい」と話している。

〈古守彩〉

(2023年3月10日付

山梨日日新聞7面)